



医院だより

令和 5 年 5 月 (238)

秋 山 医 院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315



シラネアオイ (赤城自然園)

『五月の花』

躑躅(つつじ) 梅檀(せんだん)、白根葵(しらねあおい)、藤、芍薬(しゃくやく)、シロツメクサ、牡丹

五月

別名 皐月(さつき)・建午月(けんごげつ)・仲夏(ちゅうか)

皐月の「さ」は稲を表す言葉といわれ、稲を植える月、稲の月という意味でこの名が生まれたといえます。

目次

- 1 五月の異称、五月の花、五月の言葉
- 2 五月の暦、「かかりつけ医」について、お知らせ診療案内、
- 4 健康テレフォン、大岡 信選集、けんこう(一六二)
- 5 院長のひとりごと(二〇七)

『五月の言葉』

神に逆らったからといってその刑罰として直ちに病にかかり、貧に迫り、または社会の地位を失うものではない。否、多くの場合においては身の境遇の改善は神を捨て去った結果として来るものである。神に逆らった靦面(てきめん)の刑罰は品性の墮落である。すなわち聖いことと高いことが見えなくなつて、卑しいことと低いことを追求するようになることである。しかしながらこれは最も恐るべき刑罰であつて、人にとって実はこれよりも重い刑罰はないのである。そうしてこの刑罰の特に重いわけはこれを受けたものがその刑罰であることを解せないことである。私たちは神に祈りどんな他の刑罰を受けてもこの恐るべき品性墮落の刑罰を受けないよう努めなくてはならない。

内村鑑三 二〇二一年五月九日

マスクの着用基準

の変更

「五月の暦」

- 一日 メーデー(労働者のお祭り)
 二日 八十八夜
 三日 憲法記念日
 四日 みどりの日
 五日 こどもの日、端午。葉の日、
 おもちやの日
 六日 **立夏** しだいに夏めいてくるころのこ
 と。青々とした緑、さわやかな風、気持ち
 のいい五月晴れの季節

初候 蛙始めて鳴く(かえるはじめてなく)

(五月五日〜九日ごろ)

次候 蚯蚓出する(みみずいずる)

(五月十日〜十四日ごろ)

末候 竹笋生ず(たけのこしょうず)

(五月十五日〜二十日ごろ)

八日 世界赤十字デー

十日 愛鳥週間(〜十六日)

十一日 朔太郎忌

十二日 看護の日

十四日 母の日、出雲大社例祭

十五日 沖縄本土復帰記念日、京都葵祭

二十一日 **小満**、親鸞聖人誕生会

初候 蚕起きて桑を食う

(かいこおきてくわをくう)

(五月二十一日〜二十五日ごろ)

次候 紅花榮う(べにばなさかう)

(五月二十六日〜三十日ごろ)

末候 麦秋至る(ばくしゅういたる)

(五月三十一日〜六月四日ごろ)

二十七日 日本海海戦(一九〇五)

二十九日 晶子忌

三十一日 世界禁煙デー(一九八九年から)

参考 令和5年神宮館運勢暦(神宮館)

暮らしの歳時記365日『今日は何の日か?』(講談社)

「かかりつけ医」について

当院では、日本医師会に認定された日医かかりつけ医機能研修制度の「かかりつけ医」が診療にあたります

(かかりつけ医制度は未だ定義がいまいなところがあり、
 ①患者さん自身にとってなぜかかりつけ医が必要なのか、
 ②かかりつけ医以外には受診できなくなることはないのか、
 などの疑問点が国からまだ十分説明されていないことを指摘している人もあります。)

お知らせ

一、マイナンバーカードでの受付ができます。保険証の代わりになります。将来的には他院での処方や特定検診結果もここから知ることができます。

・まだマイナンバーカードがない方は、月の最初の受診時には、受付に保険証をご提示ください。

・受診券はいつも必要です。

二、診療案内

- 一般外来診療・往診・在宅医療
- 骨粗鬆症の検査・治療
- ピロリ菌の検査と治療
- CT、MRI、PETの予約
- 胃カメラ(施行しています)・
大腸カメラ(4月から開始しました)
- 肺炎球菌・带状疱疹ワクチン

三、当番医 ①六月十八日(日)②九月十七日(日)

9時から18時まで

四、5月8日からコロナ対応の変化(制度)

新型コロナ「2類相当」↓「5類」に変更されました。

どこが変わるか?

- ① 医療費やワクチン接種の公費負担は段階的に縮小
- ② コロナ患者に対応する医療機関を段階的に拡大
- ③ 医療費の公費負担と医療提供体制も変わる
- ④ マスク着用は屋内外を問わず、個人の主体的な選択を尊重
- ⑥ 感染者の全数把握を終了、定点把握に移行

五、5月8日から変化する個人対応

- ① これからの新型コロナウイルスワクチン接種のイメージは？（下の図）
- ② 新型コロナウイルス感染症関連の県民相談窓口一覧（下の表）

- ③ 新型コロナウイルス感染症にかかったら、どのくらいの期間外出を控えればよいのか？
- ④ 5月8日以降の「濃厚接触者」の取り扱いはどうなるか？
- ⑤ 家族が新型コロナウイルス感染症にかかったら、どうしたらよい？
- ⑥ 体調に異変を感じたとき
- ⑦ 感染者がほかの人にうつすリスクは？

*③～⑦に対する説明は、次の2ページに記載。

2023年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種のイメージ

	23年5～8月	9～12月	24年度以降
対象者	65歳以上の高齢者 - 基礎疾患がある人 - 医療・介護従事者	接種可能な全ての年代 （高齢者らは2度目も可能）	定期接種も視野に検討 （一部自己負担発生も）
	- オミクロン株対応ワクチン使用 - 無料	- 使用ワクチンは23年度早期に決める - 無料	

更新日：2023年2月27日

新型コロナウイルス感染症関連の県民相談窓口一覧（医療に限る）

窓口一覧表（医療に限る）

相談内容	担当所属	連絡先（電話番号）	備考
発熱患者等の受診・相談に関する事	群馬県受診・相談センター	0570-082-820	24時間対応
	群馬県新型コロナウイルス相談ホットライン	027-212-0010 （外国語専用）	24時間対応
	前橋市保健所＜外部リンク＞	027-220-1151	平日・休日問わず8時30分～17時15分 上記以外の時間は県受診・相談センターへ
	高崎市保健所＜外部リンク＞	（受診相談）027-381-6112 （一般相談）027-381-6113、6114	平日 8時30分～17時15分 上記以外の時間は県受診・相談センターへ
新型コロナウイルスワクチンに関する事 （ワクチン接種後の医学的知見が必要な相談）	ぐんまコロナワクチンダイヤル	0570-783-910	24時間（外国語19カ国語）対応 ※ワクチンの接種場所等は各市町村へ

電話〇二七―三三四―四九七〇

<http://www.raijin.com/kenko/>

月	歯科の生活習慣病
火	月経前症候群（PMS）とは
水	胃潰瘍
木	歯並びと舌、唇のクセ
金	夏に向けてのスキンケア
土日	フッ素入り歯磨き粉の利用方法



シロツメグサ

すっぽりと布団をかぶり、／足をちぢめ、／
舌を出してみぬ、誰にともなくに

石川啄木

「悲しき玩具」（明四五）所収、あり余る才能
をもちながら、啄木は肺結核、貧、父母と妻
子が同居する家庭内の不和、生活苦の中、二
十六歳で夭折した。『解けがたき／不和のあ
ひだに身を処して、／ひとりかなしく今日も
怒れり』。最晩年の歌には、自嘲と自虐の色が
濃い、引用した歌では、「足をちぢめ」の印
象鮮やかな一句に、歌人としての啄木の力量
が見事にあらわれているといえるだろう。

ワガハイノカイミヨウモナキススカナ

高浜虚子

「高浜虚子全集」所収。明治四十一年秋、修
善寺に滞在中の虚子宛に、漱石の弟子で俳人
の松根常東洋城（本名豊次郎）から「センセイ
ノネコガシニタルヨサムカナ トヨ」という電報
が届いた。「吾輩は猫である」のモデルの黒猫
が死んだ通知を漱石から受け、虚子にも急ぎ
知らせたのである。虚子は即座に右の句を返
電した。さすがは贈答句の名手である。これ
が夏目家の動物最初の死者だった。

大岡 信著『新折々のうた』三 岩波新書

けんこう (百六十一)

新型コロナウイルスの「5類以降」後の制度や生活

(5月8日読売新聞より)

一 感染者への対応

- ① 自宅待機（外出自粛）
自治体による要請はなくなり、個人判断
に。政府は「発症後5日間」は外出を控え
ることを推奨
- ② 入院
入院勧告・指示はなし。個人判断に
- ③ 小中高校などの児童生徒
「発症後5日間」かつ「軽快後1日」が過ぎ
るまで出席停止
- ④ 医療体制
幅広い医療機関で対応する通常の体制へ
段階的に移行
- ⑤ 医療費の窓口支払い分
原則、自己負担。コロナ治療薬や入院医
療費は9月末まで軽減措置あり
- ⑥ ウイルス検査
費用は原則、自己負担

二 日常の感染対策

- ① マスクや、店舗などでの対策
個人や事業者の判断

三 ワクチン

① 接種費用

2024年3月末までは自己負担なし

四 感染動向の把握

① 感染者の把握

毎日の全感染者数の集計は終了。全国約5000医療機関の患者数を週1回公表する定点把握に変更

② 死者数

毎日の集計は終了。約5か月遅れの「人口動態統計」で月単位の公表に

五 政府・自治体による制限

① 緊急事態宣言など

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置とも適用できない

② 行動制限

特措法に基づく営業自粛、外出自粛要請などではない

③ 水際対策

入国時の陰性証明がワクチン接種証明の提示は、4月28日で既に終了。

院長のひとりごと(二〇七)

クマガイソウ

◇五月連休の好日、赤城自然公園を歩いた。堆積した木の葉を踏み、疲れを忘れてひたすら歩き回った。ふと足元にめずらしい花を見つけた。

◆ちようと見廻っていた自然園の見廻りに、

『ああ、これ……』

と言葉尻をのばしていると、
「ええ、熊谷草です」と。

(赤城自然園)



「そうそう、熊谷草でしたね、めずらしいですね、ここで見つかるなんて」

「あと一カ所あるんですけどね」

といったが、初心者と見たか、地理感がないとみられたか、場所を教えようとして、途中で黙ってしまった。

◇この花を初めて見たのは、十数年前のこと。撮影旅行で行った富士五湖近くの植物園のことであった。

およそ花びららしくない花弁と、成長しきらない花弁がしわになってまだ伸び切らないままという奇妙な花であるが、さらに名前が「クマガイソウ」とはただならぬい。

◆ウィキペディアでその説明を見たので引用する。

クマガイソウ（熊谷草、学名：

Cypripedium japonicum Thunb.）は、ラン科アツモリソウ属に分類される多年草の一種。大きな花をつけ、扇型の特徴的な葉をつける。

和名の由来は、アツモリソウともに、膨らんだ形の唇弁を昔の武士が背中に背負った母衣に見立て、源平合戦の熊谷直実（くま

6
がいなおぎね」と、一ノ谷の戦いで彼に討たれた平敦盛（たいらのあつもり）にあてたものである。

特徴

クマガイソウは、北海道南部から九州にかけて分布する。低山の森林内、特に竹林、杉林などに生育し、大きな集団を作る。草丈は40cmくらいまで、葉は対生するように二枚つき、それぞれ扇型の特徴的な形をしている。

花はその間から伸びた茎の先につき、横を向く。花弁は5枚の細い楕円形で緑色を帯び、唇弁は10cmに大きく膨らんだ袋状で、白く、紫褐色の模様がある。唇弁の口は左右から膨らんで狭まっている。

種の保全状況評価

日本では環境省により、レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類（Ⅱ）の指定を受けていて多くの都道府県で、レッドリストの指定を受けている。（引用おわり）

◇平家物語一の谷の巻で、海上に逃げた平氏の群れに逃げ遅れてしまった一人の公

達がいた。追いかけた源氏の熊谷直実が「卑怯者」と呼びかけると、彼は岸に向かって戻って来た。
いたいけな若武者を直実は討つに忍びなく見逃そうとするが彼は岸に上がり直実に挑んで首を取られてしまった。



◆当時の武士は背に布製の袋状の「布衣（ほろ）」を負い、旗指物として使ったり、矢などの防御として使用していたが、その『布衣』の形

に似た花だったので武士の代表として熊谷直実の名前をつけて「クマガイソウ」と呼んだ。

若くして死んだ公達には可憐さと若者らしい花として選んだ花を「アツモリソウ（平敦盛）」と名付けたという。

ウエブ（グリーンナップ）より借用



平家物語（現代語訳） 敦盛最期

平家が戦に負けたので、熊谷次郎直実は、「平家の公達が助け舟に乘ろうと汀の方へ落ちられるであろう。ああ、身分の高い大將軍と会って組みたいものだ」と言って、磯の方へ馬を進ませているところに、練貫（ねりぬき）に鶴を縫い付けた直垂に、萌黄匂（もえぎにおい）の鎧を着て、鍬形（くわがた）を打ち付けた甲の

緒を締め、黄金づくりの太刀を佩き、切斑(きりふ)の矢を負い、滋藤(しげとう)の弓を持って、連錢葦毛(れんぜんあしげ)の馬に黄覆輪(きんぷくりん)の鞍(くら)を置いて乗った武者が一騎、沖の船を目指して、海へざつと打ち入れ、五六段ほど泳がせたのを、熊谷は、「ああ、そこにおられるのは大將軍とお見受けいたします。卑怯にも敵に後をお見せになられるか。お戻りください」と扇を上げて招いたので、招かれて引き返す。汀に打ち上がろうとするころへ、押し並べてむんずと組んでどんと落ち、取り押えて首を斬ろうと甲を押し上げて見ると、年は十六七ほどの者が、薄化粧をして、お齒黒姿である。我が子の小次郎ほどの年齢で、幼顔がとても美しかったので、どこに刀をたてていいかわからない。「そもそもどのような方でございいますか。お名乗り下され。お助けします」と言うと、「お前は誰だ」とお尋ねになられる。「人としてその者というほどの者ではございませんが、武蔵国住人、熊谷次郎直実」と名乗り申す。「それでは、お前に向つては名乗るまい。お前にとつてはよい敵だ。名乗らずとも首を斬つて人に聞け。知っているであろう」とおっしゃった。熊谷は、「ああ、立派な大將軍だ。この人一人をお討ち申したとしても、負けるはずの戦に勝つこともなからう。又お討ち申さなくとも、勝つはずの戦に負ける事もなからう。(我が子の)小次郎が軽く傷を負ったのでさへ、

直実は心苦しく思つたのに、この殿の父上は、討たれたと聞いて、どれほどお歎きになるだろう。ああ、お助け申さなくては」と思つて、後ろをさつと見たところ、土肥、梶原が五十騎ばかりで続いて来ていた。熊谷は涙を抑えて、「お助けしようと思いましたが、味方の軍兵が雲霞のように近づいております。よもや逃れる事はできないでしょう。人の手におかけ申すより、同じ事なら直実の手におかけ申して、後で死後の供養をしてさしあげましょう」と申したところ、「ただ、早く首をとれ」とおっしゃった。熊谷はあまりにも可哀想で、何処に刀を立てていいかわからず、目の前も真っ暗になり、心も沈んで、前後不覚に思われたが、そうしてばかりもいられないので、泣く泣く首を斬つたのだつた。「ああ、弓矢をとる身程悔しいものはない。武芸の家に生れなかつたら、どうしてこんな悲しい目を見る事があるう。情けなくもお討ち申したものだ」と掻き口説き、袖を顔に当ててさめざめと泣いていた。かなり長い時間が経つて、いつまでもそうしているわけにもいかず、鎧直垂を取つて首を包もうとしたところ、錦の袋に入れた笛を腰にさされていた。「ああ、可哀想に。今日の明け方に城の中で管弦をなさつていたのはこの人達であつたか。今、味方には東国の勢力が何万騎もいるだろうが、戦の陣に笛を持つ人はいない。身分の高い人はやはり優雅なものだ」と言つて、九郎御曹司にお見せしたところ、これを見る者は誰も涙を流さないという事は無い。

後で聞くと、修理大夫経盛(しゅうりのだいぶつねもり)には子息がおられ、大夫敦盛(だいぶあつもり)といつて、生年十七になられていた。この事件を契機として熊谷の出家の志は強くなつていったのだつた。その笛は祖父忠盛が笛の名手であり、鳥羽院から頂戴なさつたということであつた。経盛が先祖から受け継がれたものを、敦盛に笛の才覚があつたので持たれていたということである。笛の名を小枝と申した。狂言綺語(きようげんきぎよ)でも仏道に入る道理があるとはいいいながら、笛の事が遂に直実が仏門に入る原因となつたのは哀れである。

ヤマシヤクヤク

